

志賀白樺苑路コース[遊歩道]

奥志賀白樺苑路（おくしがしらかばえんろ）コースは、奥志賀高原（おくしがこうげん）スキー場近くにあるペンション集落・奥志賀ペンション村を起終点とする手軽な遊歩道である。3.7 キロメートルのコースの標高差は約 50 メートルで、終点までの所要時間は約 80 分。

このコースではシラカバ (*Betula platyphylla*) の林や、志賀高原の他のエリアではめったに見ることができないブナ (*Fagus crenata*) の林の中をのんびりと散策できる。道は白樺池（しらかばいけ）まで続いており、池はたくさんのトンボやイトトンボ、チョウが集まる場所となっている。ひっそりとした林とたくさんの昆虫により神秘的な雰囲気醸し出され、シラカバとブナの葉が山吹色に染まる秋になると、その雰囲気に写真家たちは魅了される。

ブナの木はさまざまな鳥たちのすみかとなっており、コースを歩いていると、アカゲラ (*Dendrocopos major*) やアオゲラ (*Picus awokera*)、コゲラ (*Dendrocopos kizuki*) が幹をつつく音がよく聞こえてくる。これは虫を捕えたり、自分の縄張りであることを示したり、巣作りのために枯れ木を探したりするときの音である。また、コノハズク (*Otus scops japonicus*) のかすかな鳴き声が聞こえることもある。コノハズクの鳴き声は、仏教における三宝（仏、法、僧）を意味する仏法僧（ブツポウソウ）と聞こえると言われている。